

第5次鯖江市総合計画推進にかかる各部施策方針

「施策方針」とは 第5次鯖江市総合計画を着実に推進するため、市役所各部の職員が共通認識の下で各施策を積極的に展開・推進していくための具体的な取り組み方針を定めたものです。
 ここでは、各部の主な基本方針および具体的目標について取り上げています。その他の方針や重点的に取り組む項目、具体的目標については、市ホームページをご覧ください。

〈Ⅰ 基本方針〉

〈Ⅱ 具体的目標〉

◇総務部（11の基本方針・14の重点項目）

<p>行政は最大のサービス業として、市民の目線、生活者の視点に立った行政施策を立案し、実践できる創造性豊かな人材の育成を進めるとともに、自治体経営のためのマネジメント能力、政策形成能力の向上および組織力の強化に努めます。</p>	<p>■市民から信頼される職員の育成 ・【新】民間企業経営者に学ぶ組織リーダー養成研修の実施 1回 ■市役所窓口における接遇の向上 ・来訪者満足度 100%</p>
<p>まちづくりに携わる新たな層の人材の巻き込み・掘り起こしを図りながら、合わせて地域コミュニティの活性化に向けた市民間の議論を活発化することで、市民主役のまちづくりの更なる拡充と自治組織の強化を目指します。</p>	<p>■市民主役のまちづくりに向けた地域コミュニティの活性化 ・地区まちづくり応援団養成講座修了生による自主的なまちづくり活動の立ち上げ 2地区 ・【新】市民まちづくり応援団の情報交流会の開催 1回</p>
<p>女性の社会参加や男性の家事・育児への参加意識の改革、仕事と生活の調和を図るワークライフバランスを推進し、男女共同参画社会の浸透に努めます。</p>	<p>■男女共同参画社会の実現 ・市の審議会等への女性の参画率 35% ・ワークライフバランスをはじめとする男女共同参画に関する学習会の実施 12回 450人</p>
<p>北陸新幹線事業の着実な推進を図るため、鉄道・運輸機構や県には地元の声に誠意ある対応をとるよう強く要請するとともに、本市への地域振興を目的とした多岐にわたる地元要望についても、真摯に対応してまいります。</p>	<p>■北陸新幹線の着実な推進 ・北陸新幹線整備連絡会議・推進チーム会議の開催 20回 ・【新】沿線集落との調整会議 5回 ・市民への広報紙等での情報提供 2回</p>
<p>地域住民による防災訓練の実施と防災士や防災リーダーの養成に努めるとともに、地区単位の自主防災組織の設立を推進し、自助、共助、協働を理念に地域防災力の向上を目指します。</p>	<p>■自主防災組織の強化 ・【新】地区単位の自主防災組織の設立 3地区 ・自主的な防災活動の実施率 80%</p>

◇政策経営部（13の基本方針・15の重点項目）

<p>総合戦略の着実な推進に当たり、「産官学金労言」の有識者で構成する「鯖江市総合戦略推進会議」において、各施策の実施状況の検証を行うとともに、必要に応じて総合戦略の充実・見直しを行います。</p>	<p>■総合戦略の着実な推進と検証の実施 ・【新】KPI（成果指標）の達成状況の把握 11月 ・【新】鯖江市総合戦略推進会議の開催 1回</p>
<p>ふるさと納税制度の啓発に努め、自主財源の確保およびふるさと製品の積極的なPRを図ります。</p>	<p>■ふるさと納税の推進 ・イベントや会合などでふるさと納税制度の周知 5回 ・ふるさと納税目標 900件 8,000万円</p>
<p>財政健全化に向けて、行財政構造改革アクションプログラムを着実に推進します。</p>	<p>■行財政構造改革アクションプログラムの推進と財政健全化指標の平成27年度決算における目標値 ・経常収支比率 90%以下 ・実質赤字比率 0%未満</p>
<p>市民への資金調達場の提供を目的として、クラウドファンディング事業を実施するとともに、市の事業への新たな歳入確保の手段として活用します。</p>	<p>■クラウドファンディング「FAAVOさばえ」の運営および活用 ・広報紙等による周知 2回 ・目標金額達成事業数 10事業</p>
<p>市民の誰もがICT(情報通信技術)の恩恵を受けることができよう、情報化施策の推進に努めます。</p>	<p>■電子自治体を目指した情報化施策の推進 ・IT推進フォーラムの開催 130人 ・オープンデータ推進（オープンデータプラットフォームでの公開） 180件 ・タブレット、アプリの使用手法やfacebookなどSNS講座の開催 20回 200人</p>

◇健康福祉部（7の基本方針・17の重点項目）

<p>すべての人が地域の中で自分らしく生き生きと暮らすことができる自立と共生のまちづくりを推進します。</p>	<p>■地域福祉計画の推進 ・見守り体制の組織化率 70% ・ご近所福祉ネットワーク活動の出前講座等の開催 30回</p>
<p>高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、生きがいづくりと介護予防の推進に努めるとともに、いつでも安心して医療・介護サービスが受けられる地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みに努めます。また、介護保険制度改正に伴う新しい介護予防・日常生活支援総合事業の実施に向けた、生活支援等サービスの体制整備を推進します。</p>	<p>■高齢者の生きがいづくりと介護予防の推進 ・介護予防いきいき講座参加者数 4,600人 ■介護予防・日常生活支援総合事業の実施に向けた体制整備 ・【新】介護予防・日常生活支援協議会の開催 3回</p>
<p>子育て家庭の育児に対する不安や悩みを解消するため、的確な時期と内容の情報提供や気軽に相談できる体制を整備するほか、地域においてもきめ細やかな支援の充実を図ります。また、保育所（園）と幼稚園の機能を持ち教育と保育の一体的提供を行う認定こども園の推進に努めます。</p>	<p>■保育サービスの充実 ・【新】認定こども園整備計画の策定 3月 ・【新】子育て支援アプリ「つつじっこリトル」の登録者数 250人 ■子育て支援の充実 ・子育て活動の親子参加者数 30,000人</p>
<p>市民が生涯にわたり心身ともに健康で過ごせるよう、食生活や運動、心の健康づくりなど健康に関する講座の開催や情報提供等を行うとともに、市民や健康に関わる団体、機関等と連携、協働して健康づくりを推進し、健康長寿のまちづくりに努めます。</p>	<p>■市民の主体的な健康づくりの推進 ・健康教室開催数、参加者数 125回 2,500人 ・楽しく続けるエクササイズ普及事業の開催数、参加者数 64回 1,000人</p>

◇産業環境部（12の基本方針・16の重点項目）

<p>鯖江市の地場産業に蓄積された高度な技術を活かし、新産業の創出に取り組み、海外展開も視野に新たな市場開拓や需要の拡大を図るとともに、若者に魅力のある雇用の創出を目指します。</p>	<p>■「作るだけの産地」から「作って売る産地」への転換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディカル、ウェアラブル等の成長分野の技術開発、海外販路開拓支援件数 8件 ・鯖江の頑張るリーダー企業応援事業・新製品新技術開発等の支援件数 50件
<p>商工会議所、地元住民、学生、商店街などと連携・協働し、西山公園と街なかとの一体化や歴史を活かしたまちづくりを検討しながら「賑わい」「憩い」「癒し」にあふれる中心市街地の形成を推進します。</p>	<p>■中心市街地の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【新】中心市街地再開発方針の検討 3月 ・【新】福井県おもてなし商業エリア創出プランの認定 3月
<p>国道417号冠山峠道路開通を視野に伝統工芸を有する近隣市町と連携しながら、西山公園や道の駅一帯の自然環境やものづくり産業を地域資源と捉え、インバウンドに対応した通年型の産業観光・広域観光の推進に努めます。</p>	<p>■通年型観光・産業観光・広域観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間観光客入込数 130万人 ・【新】丹南伝統工芸5産地ツアーの開催 3月
<p>さばえ菜花、さばえ菜花米、吉川ナス、マルセイユメロン等に新たに川島ごぼうを加えた特産農産物の生産体制の確立とブランド化を支援します。</p>	<p>■おいしい鯖江米の生産体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度のさばえ菜花米作付け面積 40ha <p>■園芸振興プランの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミディトマト、マルセイユメロン、ブロッコリー、吉川ナス、さばえ菜花など軟弱野菜の出荷額 2,500万円
<p>一般廃棄物処理計画に基づき、中長期的な視野に立って、ごみの排出量削減と資源化率の向上に努めるとともに、指定ごみ袋の規格等の変更や、ごみ処理経費削減のための市民負担等について検討を行います。</p>	<p>■ごみの減量化と3Rの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人1日当たりのごみ排出量 900g(対前年比△50g) ・【新】指定ごみ袋の規格、料金等の見直し 3月

◇都市整備部（8の基本方針・10の重点項目）

<p>幹線道路の整備や身近な生活道路の修繕を行い、円滑で安全な道路の整備を推進します。また、通学路の安全確保に向けた環境整備を行います。</p>	<p>■円滑で安全な道路網の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全な自転車通行空間の整備延長 900m ・交差点100箇所改良事業 33箇所
<p>雨水幹線の整備、田んぼダムの推進による洪水被害の軽減を図ります。また河川環境の適正管理など、水害に強いまちづくりに取り組みます。</p>	<p>■災害に強い河川等の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨水幹線・支線排水路の整備率(延長) 45% ・冠水箇所の調査・解消方法の検討 5箇所 ・田んぼダム整備面積 141ha
<p>地域資源を活かした都市計画・土地利用を推進し、快適で美しい誇りの持てるまちづくりに努めます。また、賑わいのある中心市街地の形成に向けて、具体的な方策を検討します。</p>	<p>■適正な都市計画・土地利用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立地適正化計画の策定 12月 <p>■調和のとれた都市空間の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅「西山公園」来館者数 50万人
<p>農業の多面的機能の維持・発揮のための活動の支援や老朽化した農業用施設の更新整備を推進します。併せて農村環境基盤整備を実施し、安全で快適な農村環境づくりに取り組みます。</p>	<p>■農業の多面的機能の維持発揮のための活動に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに多面的機能支払交付金に取り組む集落数 2集落 <p>■農業生産基盤の更新整備ならびに集落環境基盤整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業用排水路更新整備延長 1,300m

◇教育委員会（10の基本方針・17の重点項目）

<p>ものづくりを核としたふるさと教育(学習)に取り組み、郷土に自信と誇りを持てる子どもたちの育成に努めます。</p>	<p>■ものづくりを核としたふるさと教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりや歴史文化などふるさと理解のためのゲストティーチャーによる講演会・体験活動の実施 全小中学校で2回
<p>公民館を中心に、地域や家庭の教育力の向上と青年活動の活性化を推進します。</p>	<p>■ふるさと学習の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域でのふるさと学習事業の開催数 20回
<p>まなべの館を活用して積極的に芸術・文化の振興を図るとともに、文化財等の調査や保存、活用に取り組み、郷土に愛着と誇りの持てるふるさと学習の推進に努めます。</p>	<p>■地域の教育力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館合宿通学事業の実施 子どもの参加者数 470人 ボランティアの参加者数 1,400人 <p>■地域における青年活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域青年交流事業の参加者数 5,000人
<p>まなべの館を活用して積極的に芸術・文化の振興を図るとともに、文化財等の調査や保存、活用に取り組み、郷土に愛着と誇りの持てるふるさと学習の推進に努めます。</p>	<p>■文化財の調査・保存・啓発の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国、県、市指定登録文化財数 200件 <p>■文化活動への参加と豊かな心を育む文化のまちの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと学習の参加者数 1,100人 (まなべDEわくわくアートフェスタ、ふるさとさばえ検定等)
<p>総合型地域スポーツクラブや開放学校などのスポーツ環境を最大限に活用し、すべての市民が「こころ」の豊かさと「からだ」の健康を実感できる生涯スポーツ社会の推進に努めます。</p>	<p>■生涯健康および生涯スポーツ社会の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設等の利用者数 350,000人 ・健康教室、ニュースポーツ教室、スポーツ交流事業 70回 1,000人